



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月14日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東名
コード番号 4681 URL <http://www.resorttrust.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）伊藤 勝康
問合せ先責任者（役職名）執行役員 経営企画・IR室長（氏名）相川 千絵（TEL）（052）933-6519
四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	74,409	0.6	8,400	△18.0	9,261	△9.1	5,636	2.4
23年3月期第3四半期	73,991	13.0	10,241	51.9	10,190	53.7	5,507	69.5

（注）包括利益 24年3月期第3四半期 5,497百万円（5.5%） 23年3月期第3四半期5,210百万円（－）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	120.77	120.67
23年3月期第3四半期	119.22	118.75

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	239,416	65,838	24.6
23年3月期	237,359	61,379	23.0

（参考）自己資本 24年3月期第3四半期 58,843百万円 23年3月期 54,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	10.00	30.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	99,000	△9.2	9,200	△30.2	9,100	△31.8	5,400	63.6	115.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	51,705,748株	23年3月期	51,705,748株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	4,930,072株	23年3月期	5,101,361株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	46,674,999株	23年3月期3Q	46,192,573株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 決算補足説明資料については、本日（平成24年2月14日）当社ホームページ（会社案内-投資家情報-IR資料）に「決算説明資料」を掲載いたします。
(http://www.resorttrust.co.jp/data/c02_01.html)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13
4. 補足情報	14
(1) 販売実績	15
(2) 契約実績	16
(3) ホテル別 売上高・消費単価	17
(4) ホテル別 宿泊客数・室稼働率	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当第3四半期連結累計期間の概況

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	73,991百万円	74,409百万円	73,300百万円	+0.6%	+1.5%
営業利益	10,241百万円	8,400百万円	7,900百万円	△18.0%	+6.3%
経常利益	10,190百万円	9,261百万円	8,400百万円	△9.1%	+10.3%
四半期純利益	5,507百万円	5,636百万円	5,000百万円	+2.4%	+12.7%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で停滞していた生産活動に回復の動きが見られるようになっておりますが、欧州財政不安や長期化する円高などの影響を受け、依然として先行き不透明な状況にあります。

こうした中、当社グループの状況は、当初懸念された震災の影響も限定的で、会員制リゾートホテル「XIV（エクシブ）」の利用客数が前年同期並みを維持できたこと、前期（平成23年3月18日）に開業を迎えた高級会員制リゾートホテル「エクシブ有馬離宮」が通期稼動したことに加え、新規販売開始した「エクシブ軽井沢パセオ」、「エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴィラ ムセオ」を始めとするリゾートホテル会員権の販売が好調に推移しましたが、前年同期と比較しますと会員権契約高が減少したため、第3四半期連結累計期間の売上高は74,409百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は8,400百万円（前年同期比18.0%減）、経常利益は9,261百万円（前年同期比9.1%減）、四半期純利益は5,636百万円（前年同期比2.4%増）となりました。なお、被災地支援活動の状況については、当第3四半期連結累計期間において、キャンペーンとして実施しておりました施設売上からの義援金1億円、並びに当社施設のお客様からの募金及び6月に開催いたしました女子プロゴルフトーナメント「リゾートトラストレディス」での募金を福島県へ寄付したほか、ホテルでは東北産食材を使用した特別ディナーを提供するなど、継続的に支援活動を行っております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、「セグメント利益」は「営業利益」であります。

② セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	20,704百万円	19,921百万円	19,600百万円	△3.8%	+1.6%
セグメント利益	4,171百万円	2,286百万円	2,200百万円	△45.2%	+3.9%

会員権事業におきましては、「エクシブ有馬離宮」や新規販売開始となった「エクシブ軽井沢パセオ」、「エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴィラ ムセオ」の会員権販売が好調に推移しましたが、契約高が減少したことなどにより減収減益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	40,756百万円	40,213百万円	39,670百万円	△1.3%	+1.4%
セグメント利益	4,923百万円	4,933百万円	4,380百万円	+0.2%	+12.6%

ホテルレストラン等事業におきましては、前期（平成23年3月18日）に開業した高級会員制リゾートホテル「エクシブ有馬離宮」が通期稼動し、その運営収益や年会費等が収益貢献しましたが、前年同期に連結子会社であった第一アドシステム㈱が子会社でなくなった影響などにより減収増益となりました。

【ゴルフ事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	6,150百万円	6,176百万円	6,060百万円	+0.4%	+1.9%
セグメント利益	498百万円	436百万円	420百万円	△12.5%	+3.9%

ゴルフ事業におきましては、ゴルフ会員権の販売が増加しましたが、震災の影響でグランディ那須白河ゴルフクラブ（福島県）が一時クローズしていたことなどにより増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	6,192百万円	7,761百万円	7,630百万円	+25.3%	+1.7%
セグメント利益	499百万円	605百万円	750百万円	+21.2%	△19.3%

メディカル事業におきましては、当期より医療施設経営コンサルティング業を営む子会社(株)アドバンスト・メディカル・ケアを連結化したこと、メディカル会員権の販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売 上 高	187百万円	336百万円	340百万円	+79.3%	△1.0%
セグメント利益	148百万円	137百万円	150百万円	△7.2%	△8.0%

その他におきましては、賃貸料収入が増加しましたが、間接費用の増加などにより増収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、会員権販売に伴い販売用不動産が5,058百万円、貸付金回収に伴い営業貸付金が1,632百万円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が5,141百万円、有価証券が1,995百万円、投資有価証券が2,956百万円それぞれ増加したことなどにより、239,416百万円（前連結会計年度比2,057百万円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、未竣工物件の販売に伴い前受金が2,258百万円、年会費等の前受収益が3,196百万円、長期借入金が2,659百万円それぞれ増加した一方で、工事代金の支払い等に伴い未払金が8,248百万円減少したことなどにより、173,578百万円（前連結会計年度比2,401百万円の減少）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が3,989百万円増加したことなどにより、65,838百万円（前連結会計年度比4,458百万円の増加）となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は 24.6%（前連結会計年度比1.6ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本資料において前回（平成23年11月14日付）発表した業績予想については、最近の業績動向を踏まえ修正を行いました。

前回予想に比し、震災による販売面・運営面への影響が想定よりも限定的であったため、売上高・営業利益とも前回予想を上回る見通しであります。経常利益、当期純利益については市況悪化に伴う資産評価リスクを鑑み据え置いております。

なお、通期連結業績予想は以下のとおりであります。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	前連結会計年度(実績)	当連結会計年度(計画)	増減比	(参考) 前回予想
売上高	108,976百万円	99,000百万円	△9.2%	97,000百万円
営業利益	13,172百万円	9,200百万円	△30.2%	8,500百万円
経常利益	13,341百万円	9,100百万円	△31.8%	9,100百万円
当期純利益	3,300百万円	5,400百万円	+63.6%	5,400百万円

当社グループの通期業績見通しについては、前期に比し、大型施設の開業が無く不動産部分の一括売上計上がなくなること、また、震災による販売面・運営面への一定程度の影響は避けがたく、会員権契約高、及び既存施設の売上高が減少するものと想定していること、一方で「エクシブ有馬離宮」の通期稼働に伴い運営収益や年会費等が貢献すること、また、「エクシブ軽井沢 パセオ」、「エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴィラ ムセオ」（平成24年春開業予定）の会員権販売と新規開業を予定していることなどから、当社グループ全体として売上高 99,000百万円（前年同期比 9.2%減）、営業利益 9,200百万円（同 30.2%減）、経常利益 9,100百万円（同 31.8%減）を見込んでおります。なお、前期に計上した震災影響に伴う特別損失が無くなりますので、当期純利益については 5,400百万円（同 63.6%増）と増益を見込んでおります。

なお、今後も震災の復興状況などにより業績変動が見込まれます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。なお、これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、118円71銭であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(退職給付引当金)

当社及び一部の連結子会社は、平成23年4月1日に退職年金支給規定の改定を行い、税制適格退職年金制度から確定給付企業年金制度へ移行いたしました。これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用したことにより、当事業年度において退職給付債務が346百万円減少しております。なお、当該過去勤務債務は発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により、発生年度より償却しております。

(法人税率の変更等による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が公布され、平成24年4月1日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年3月31日まで 40.6%、平成24年4月1日から平成27年3月31日 37.7%、

平成27年4月1日以降 35.3%

この税率の変更により、当第3四半期連結累計期間における繰延税金資産が424百万円減少し、繰延税金負債が271百万円減少、法人税等調整額が134百万円増加し、その他有価証券評価差額金が19百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,514	19,655
受取手形及び売掛金	3,676	4,227
営業貸付金	26,313	24,681
有価証券	13,999	15,995
商品	352	412
販売用不動産	23,608	18,550
原材料及び貯蔵品	859	1,098
仕掛販売用不動産	9,949	10,334
繰延税金資産	4,640	3,993
その他	2,962	3,407
貸倒引当金	△829	△747
流動資産合計	100,047	101,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	54,359	52,848
機械装置及び運搬具（純額）	2,338	2,048
コース勘定	12,337	12,840
土地	26,515	27,012
建設仮勘定	1,287	1,877
その他（純額）	5,384	4,754
有形固定資産合計	102,223	101,382
無形固定資産		
のれん	292	255
ソフトウェア	1,253	1,059
その他	2,287	2,214
無形固定資産合計	3,833	3,529
投資その他の資産		
投資有価証券	10,742	13,699
関係会社株式	1,893	1,258
長期貸付金	3,592	3,493
繰延税金資産	2,133	2,105
その他	19,221	18,518
貸倒引当金	△6,317	△6,176
投資損失引当金	△10	△3
投資その他の資産合計	31,254	32,895
固定資産合計	137,311	137,808
資産合計	237,359	239,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	642	1,179
短期借入金	2,110	2,050
1年内返済予定の長期借入金	9,869	9,498
1年内償還予定の社債	1,924	1,790
未払金	13,109	4,860
未払法人税等	2,398	723
未払消費税等	371	824
前受金	810	3,068
前受収益	6,817	10,013
債務保証損失引当金	34	71
災害損失引当金	744	183
その他	6,819	6,417
流動負債合計	45,652	40,681
固定負債		
社債	5,175	5,250
長期借入金	10,786	13,446
繰延税金負債	2,243	1,949
退職給付引当金	849	1,139
役員退職慰労引当金	1,447	1,502
長期預り保証金	103,772	103,412
負ののれん	945	855
その他	5,105	5,341
固定負債合計	130,326	132,896
負債合計	175,979	173,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,258	14,258
資本剰余金	13,906	13,906
利益剰余金	35,016	39,006
自己株式	△8,369	△8,088
株主資本合計	54,811	59,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△198	△239
その他の包括利益累計額合計	△198	△239
新株予約権	366	532
少数株主持分	6,400	6,463
純資産合計	61,379	65,838
負債純資産合計	237,359	239,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	73,991	74,409
売上原価	13,906	13,794
売上総利益	60,084	60,615
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	19,058	20,093
役員退職慰労引当金繰入額	41	54
修繕維持費	1,567	1,546
債務保証損失引当金繰入額	—	37
水道光熱費	3,071	3,332
減価償却費	4,166	4,238
その他	21,937	22,912
販売費及び一般管理費合計	49,843	52,214
営業利益	10,241	8,400
営業外収益		
受取利息	192	208
受取配当金	22	24
割賦利息及び手数料	8	5
投資損失引当金戻入額	—	6
持分法による投資利益	6	6
負ののれん償却額	100	90
貸倒引当金戻入額	—	218
保険解約返戻金	—	436
その他	124	293
営業外収益合計	453	1,290
営業外費用		
支払利息及び社債利息	179	155
前受金保証料	36	13
シンジケートローン手数料	60	31
控除対象外消費税等	163	121
その他	65	107
営業外費用合計	505	428
経常利益	10,190	9,261

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	3	0
関係会社株式売却益	196	21
投資損失引当金戻入額	6	—
貸倒引当金戻入額	143	—
持分変動利益	—	193
関係会社整理損失引当金戻入額	188	—
その他	4	6
特別利益合計	542	220
特別損失		
固定資産除却損	99	24
固定資産売却損	67	3
投資有価証券評価損	11	6
減損損失	—	163
災害による損失	—	159
関係会社株式売却損	0	—
貸倒損失	13	—
貸倒引当金繰入額	288	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29	—
年会費期間配分修正損	359	—
その他	70	24
特別損失合計	938	381
税金等調整前四半期純利益	9,793	9,100
法人税、住民税及び事業税	2,982	3,186
法人税等調整額	1,274	374
法人税等合計	4,256	3,561
少数株主損益調整前四半期純利益	5,537	5,538
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	30	△98
四半期純利益	5,507	5,636

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,537	5,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△327	△41
その他の包括利益合計	△327	△41
四半期包括利益	5,210	5,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,179	5,596
少数株主に係る四半期包括利益	30	△98

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,793	9,100
減価償却費	4,551	4,576
減損損失	—	163
のれん及び負ののれん償却額	△41	△27
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△568	△223
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	303	261
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△126	54
受取利息及び受取配当金	△214	△233
支払利息及び社債利息	179	155
投資有価証券評価損益 (△は益)	11	6
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△6	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	345	1,146
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,990	4,178
仕入債務の増減額 (△は減少)	259	532
未払金の増減額 (△は減少)	△3,915	△6,185
前受金の増減額 (△は減少)	2,247	2,258
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	22	△359
未払消費税等の増減額 (△は減少)	65	435
その他	2,007	2,149
小計	16,903	17,983
利息及び配当金の受取額	264	224
利息の支払額	△167	△148
法人税等の支払額	△8,769	△5,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,230	13,021
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,481	△1,969
定期預金の払戻による収入	6,631	2,529
有価証券の取得による支出	△22,898	△50,483
有価証券の売却及び償還による収入	14,500	47,000
投資有価証券の取得による支出	△2,399	△3,692
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,000	200
関係会社株式の取得による支出	△29	△32
関係会社株式の売却による収入	92	68
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,450	△4,133
貸付けによる支出	△444	△60
貸付金の回収による収入	985	91
その他	1,228	△1,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,264	△11,682

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△6,600	△60
長期借入れによる収入	9,530	11,323
長期借入金の返済による支出	△9,098	△9,033
社債の発行による収入	—	1,075
社債の償還による支出	△1,159	△1,159
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	65	182
配当金の支払額	△1,847	△1,400
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△14	367
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,125	1,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,159	2,633
現金及び現金同等物の期首残高	31,592	21,446
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	821	540
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,254	24,621

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	ゴルフ事業	メディカル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,704	40,756	6,150	6,192	73,803	187	73,991
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	1,569	47	1	1,633	401	2,035
計	20,719	42,326	6,197	6,194	75,437	589	76,026
セグメント利益	4,171	4,923	498	499	10,092	148	10,241

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,092
「その他」の区分の利益	148
四半期連結損益計算書の営業利益	10,241

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、下記ののれんの金額が変動しております。

当社グループが積極的な展開を図っているシニアレジデンス事業を発展させるにあたっての基盤とするため、トラストガーデン(株)の株式を取得し、連結子会社としたことによりのれんが発生しております。

また、従来は非連結子会社でありました(株)ウェル・トラスト及びヒューマンライフサービス(株)も同様に今期より連結の範囲に含めたことにより、未認識でありましたのれん及び負ののれんを計上しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては374百万円であり、負ののれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレストラン等事業	ゴルフ事業	メディカル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,921	40,213	6,176	7,761	74,073	336	74,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	1,825	42	2	1,877	239	2,116
計	19,928	42,039	6,219	7,763	75,950	575	76,526
セグメント利益	2,286	4,933	436	605	8,262	137	8,400

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,262
「その他」の区分の利益	137
四半期連結損益計算書の営業利益	8,400

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、平成23年9月30日付で(株)関西ゴルフ倶楽部の株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては26百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

株式会社ウェル・トラストは、平成24年1月1日付で、同社を存続会社として、ヒューマンライフサービス株式会社を吸収合併いたしました。なお、これらの合併当事会社は、いずれも当社の100%連結子会社であります。

共通支配下の取引等

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

(存続会社)

名称 株式会社ウェル・トラスト

事業の内容 居宅介護サービス事業

(消滅会社)

名称 ヒューマンライフサービス株式会社

事業の内容 居宅介護サービス事業

②企業結合日

平成24年1月1日

③企業結合の法的形式

株式会社ウェル・トラスト（当社の連結子会社）を吸収合併存続会社、ヒューマンライフサービス株式会社（当社の連結子会社）を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社ウェル・トラスト（当社の連結子会社）

⑤その他取引の概要に関する事項

株式会社ウェル・トラストとヒューマンライフサービス株式会社はシニアライフ事業（介護付有料老人ホーム）をそれぞれ独立した事業体として個別に運営を行っていましたが、今後、同じグループとしてシニアライフ事業の更なる拡大とサービスの向上を目指すために、それぞれの会社組織が持つ事業運営のノウハウを結集することを目的として合併するものです。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として処理を行います。

4. 補足情報

営業内容（販売実績、稼働率等）を補足情報として添付しております。

(1) 販売実績

区 分			H22/12 (前期実績)		H23/12 (当期実績)	
			数 量	金額 (百万円)	数 量	金額 (百万円)
会 員 権 事 業	ホ テ ル 会 員 権	登 録 料 売 上	2,618口	8,787	2,923口	8,262
		不 動 産 売 上	1,065口	6,795	1,820口	8,822
		計		15,582		17,085
	そ の 他		5,121		2,836	
	小 計		20,704		19,921	
ホ テ ル レ ス ト ラ ン 等 事 業	料 飲 売 上			17,070		17,464
	宿 泊 料 売 上			10,351		10,846
	施 設 付 帯 売 上			3,723		3,848
	運 営 管 理 費 収 入			4,195		4,533
	保 証 金 償 却 収 入			1,770		2,028
	そ の 他			3,644		1,493
	小 計			40,756		40,213
	ゴ ル フ 事 業	登 録 料 収 入		345口	240	436口
ゴ ル フ 場 売 上			5,410		5,380	
年 会 費 収 入			295		306	
保 証 金 償 却 収 入			163		171	
そ の 他			39		29	
小 計			6,150		6,176	
メ デ ィ カ ル 事 業		登 録 料 収 入		354口	774	569口
	医 療 用 機 器 等 賃 貸 料			692		729
	年 会 費 収 入			1,451		1,565
	保 証 金 償 却 収 入			953		985
	シニアレジデンス収入			2,061		2,447
	そ の 他			259		814
	小 計			6,192		7,761
	そ の 他	賃 貸 料 収 入			122	
そ の 他			64		59	
小 計			187		336	
合 計				73,991		74,409

- (注) 1. 数量欄に記載のないものについては、取扱品目が多岐にわたり記載が困難のため記載しておりません。
2. 会員権事業のその他は、会員権の解約合意金と営業貸付金利息収入等であります。
3. ホテルレストラン等事業のその他は、ローズルーム名古屋・大阪（レストラン）2店舗の売上高、名義書換料、ワンダーネット事業の売上高、通販収入、旅行部門の売上高、清掃業売上高、会員制ホテルの交換利用における手数料収入、ヘアアクセサリ等の製造・販売及びトータルビューティー事業の売上高等であります。
4. ゴルフ事業のその他は、営業貸付金利息収入等であります。
5. メディカル事業のその他は、会員権の解約合意金、営業貸付金利息収入、クリニック受託収入等であります。
6. その他のその他は、営業貸付金利息収入、別荘管理料等であります。
7. 上記の金額は、連結消去後の数値であります。
8. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 契約実績

会員権事業のホテル会員権の契約実績は次の通りであります。

(単位 百万円)

区 分	H22/12 (前期実績)				H23/12 (当期実績)			
	期首繰延残高	期中契約高	期中売上高	期末繰延残高	期首繰延残高	期中契約高	期中売上高	期末繰延残高
登録料部分	—	8,787	8,787	—	—	8,262	8,262	—
不動産部分	10,766	9,894	6,795	13,866	—	10,569	8,822	1,747
保証金部分	—	3,123	—	—	—	2,411	—	—
そ の 他	—	—	5,121	—	—	—	2,836	—
計	10,766	21,805	20,704	13,866	—	21,243	19,921	1,747

- (注) 1. 「その他」は、会員権の解約合意金と営業貸付金利息収入等であります。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) ホテル別 売上高・消費単価

		売上高 (百万円)		消費単価 (円)	
		H22/12 (前期実績)	H23/12 (当期実績)	H22/12 (前期実績)	H23/12 (当期実績)
エ ク シ ブ	エクシブ有馬離宮	—	2,944	—	22,920
	エクシブ箱根離宮	2,848	2,722	21,030	20,582
	エクシブ京都八瀬離宮	2,931	2,880	19,696	19,829
	エクシブ那須白河	894	523	26,969	32,562
	エクシブ浜名湖	1,739	1,740	17,984	18,548
	エクシブ初島クラブ	1,546	1,194	19,281	18,635
	エクシブ鳴門&SV&SVⅡ	1,438	1,313	14,489	14,663
	エクシブ蓼科	1,612	1,548	16,454	16,665
	エクシブ琵琶湖	2,234	2,216	18,103	18,245
	エクシブ山中湖&SV	1,952	1,825	16,717	16,553
	エクシブ淡路島	483	494	14,022	14,222
	エクシブ軽井沢&SV	1,529	1,469	14,950	14,661
	エクシブ白浜&アネックス	1,264	1,149	12,732	12,533
	エクシブ伊豆	754	658	11,591	11,312
	エクシブ鳥羽&アネックス	1,838	1,736	13,685	13,349
	エクシブ小計	23,067	24,419	16,870	17,327
サンメン バーズ	サンメンバーズリゾート	2,160	1,965	12,671	12,733
	サンメンバーズシティ	1,024	965	6,413	6,294
	サンメンバーズ小計	3,184	2,930	9,644	9,524
ト ラ ス テ ィ	トラスティ神戸旧居留地	402	404	8,501	8,641
	トラスティ東京ベイサイド	502	446	8,657	8,234
	トラスティ心斎橋	703	693	10,832	10,533
	トラスティ名古屋栄	437	418	7,876	7,569
	トラスティ名古屋	413	408	6,535	6,262
	トラスティ小計	2,458	2,372	8,505	8,252
BCC	東京ベイコート倶楽部	2,434	2,436	36,071	34,720
ホテル合計		31,145	32,158	—	—

※1. 「BCC」は「ベイコート倶楽部」の略称であります。

※2. 「SV」は、「サンクチュアリ・ヴィラ」の略称であります。

※3. エクシブ有馬離宮は、平成23年3月18日に開業しております。

※4. エクシブ那須白河、エクシブ初島クラブについては、震災影響によるクローズを行っており、当期の営業日数は、それぞれ170日、253日となっております。

(4) ホテル別 宿泊客数・室稼働率

		宿泊客数 (人)		室稼働率 (%)	
		H22/12 (前期実績)	H23/12 (当期実績)	H22/12 (前期実績)	H23/12 (当期実績)
エ ク シ ブ	エクシブ有馬離宮	—	128,492	—	87.1
	エクシブ箱根離宮	135,444	132,263	90.6	88.8
	エクシブ京都八瀬離宮	148,835	145,260	86.8	84.5
	エクシブ那須白河	33,161	16,088	72.0	56.5
	エクシブ浜名湖	96,731	93,856	59.1	57.7
	エクシブ初島クラブ	80,199	64,117	48.5	42.4
	エクシブ鳴門&SV&SVⅡ	99,284	89,579	64.9	58.9
	エクシブ蓼科	98,000	92,923	52.4	49.9
	エクシブ琵琶湖	123,442	121,475	56.8	56.4
	エクシブ山中湖&SV	116,786	110,293	53.7	51.5
	エクシブ淡路島	34,445	34,742	42.3	43.3
	エクシブ軽井沢&SV	102,277	100,219	57.3	56.8
	エクシブ白浜&アネックス	99,319	91,719	49.5	45.6
	エクシブ伊豆	65,116	58,210	39.1	35.0
	エクシブ鳥羽&アネックス	134,332	130,087	45.7	43.7
	エクシブ小計	1,367,371	1,409,323	56.8	55.9
サンメン バーズ	サンメンバーズリゾート	170,508	154,357	49.6	45.1
	サンメンバーズシティ	159,738	153,336	71.2	69.1
	サンメンバーズ小計	330,246	307,693	60.1	56.9
ト ラ ス テ ィ	トラスティ神戸旧居留地	47,337	46,785	92.4	93.2
	トラスティ東京ベイサイド	58,044	54,279	75.6	69.4
	トラスティ心斎橋	64,901	65,884	90.9	91.8
	トラスティ名古屋栄	55,524	55,355	85.4	84.6
	トラスティ名古屋	63,292	65,162	79.8	82.1
	トラスティ小計	289,098	287,465	84.2	83.7
BCC	東京ベイコート倶楽部	67,488	70,190	33.5	35.6
ホテル合計		2,054,203	2,074,671	—	—